

科目区分	基礎科目	科目名	現代社会と女性		科目コード	17L010	担当者	玉島 健二			
対象学生	ビジネス・医療秘書コース 全学	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
2年間で15回の授業です。多彩な講師によるオムニバス形式の授業を受ける中で、学生の皆さんには多角的で、柔軟なものの見方、考え方、行動力などを身に付けてほしいと願っています。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	現代に生きる女性に必要な素養、考え方、生き方等を身に付ける										
2.	命と人権を考え、お互いを大切に作る心と行動力を身に付ける										
3.	長崎の歴史や文化について学び、郷土を愛する心を育む										
4.	仕事や職業について理解し、人としての生きる力を身に付ける					◎	◎	△	◎	◎	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（50%） 受講態度（50%）					
2年間で15回の授業で、第1回目～第3回目は「初年次教育」として本学で学ぶ意義や授業の受け方、レポートの書き方等、本学学生として必要なスキルを身に付ける授業を行います。それ以降は、多彩な講師によるオムニバス形式の授業です。授業終了後には、毎回レポートを提出してもらいます。											
準備学修						課題等への対応					
①日ごろより新聞を読み、世の中の動きに関心を持っておくこと。また、講師の講義に対し、姿勢よく聴講する習慣を身に付けておくこと。 ②授業外の学修は、90時間を目安として準備しておくこと。						提出されたレポートは、その都度評価します。					
授業計画											
第1回	建学の精神、本学の歴史、授業の受け方等について学ぶ										
第2回	依存症について学ぶ										
第3回	読む、書く、表現する等について学ぶ										
第4回	胎児の人権を考える										
第5回	年金教育・消費者教育										
第6回	長崎さるくについて①										
第7回	長崎さるくについて②（長崎さるく体験）										
第8回	長崎さるくについて③（長崎さるく体験）										
第9回	職業フォーラム										
第10回	就職活動への心構え										
第11回	挑戦～今、私にできること～										
第12回	「コミュニケーション力」を高める										
第13回	マネープランについて考える										
第14回	企業者の思いについて知る										
第15回	市長の思い										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
特にありません。必要に応じて資料を配布します。						様々な講師の方から発信される思いや願いをしっかりと受け止め、人間力を高めてください。					